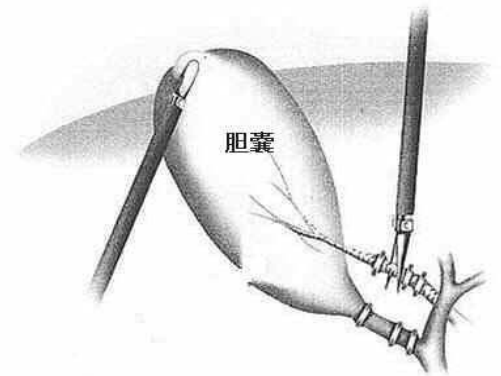


川野病院では体に優しい腹腔鏡手術を積極的に取り入れています

当院では患者様の術後の疼痛軽減のため鏡視下手術（腹腔鏡手術）に積極的に取り組んでおります。鏡視下手術とは、腹壁や胸壁に1-2cmの小さな穴を数個あけ、そこから小さなカメラ（腹腔鏡）を挿入して手術をします。



適応疾患

・肝胆膵領域：	胆石症	腹腔鏡下胆嚢摘出術	5日間程度の入院
・上部消化管領域：	早期胃癌	腹腔鏡補助下胃切除術	10日間程度の入院
・下部消化管領域：	早期大腸癌	腹腔鏡補助下大腸部分切除術	10日間程度の入院
・呼吸器領域：	自然気胸	胸腔鏡下肺部分切除術	5日間程度の入院

腹腔鏡手術の利点

- ① 創が小さいため、手術後の痛みが少なく早期に退院・社会復帰が可能である。
- ② 拡大視効果で血管や神経の走行がより鮮明に把握が可能で、出血量の減少や神経の温存に有利（＝精密な手術ができる）である。
- ③ 創が目立たないため美容面でもメリットがある。

このたび、当院の川野勸医師が消化管・一般領域の日本内視鏡外科学会の技術認定医を取得いたしました。（技術認定とは内視鏡下手術を安全かつ適切に施行する技術を有し、かつ指導するに足る技量を有していることを認定しているものです。）

《次ページへ続く》

腹腔鏡手術は良性疾患である胆石症や自然気胸の手術に対しては10年以上前より導入され、すでに標準的な手術として定着しております。また、癌に対しては早期の胃癌・大腸癌に対する有効性と安全性はほぼ確立されており、進行癌に関しては現在検証を慎重に進めている段階です。

当院では患者様に優しい鏡視下手術を積極的に導入しており、ハイビジョンの腹腔鏡、最新の超音波凝固切開装置などを使用しております。実際の手術に関しては個々の患者様の年齢、併存疾患、体力等を考慮して慎重に適応を決定する必要がありますのでまず、担当医にご相談ください。

担当医師

川野幸夫

日本外科学会専門医・日本消化器外科学会認定医 日本大腸肛門病学会指導医

下部消化管 肝胆膵領域担当

川野 勸

日本外科学会専門医・日本消化器外科学会専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医

上部消化管 肝胆膵領域担当

外来担当日

(○川野幸夫 ●川野勸)

	月	火	水	木	金	土
午前		○		●		○
午後	●	○		●	○	



腹腔鏡下胆嚢摘出後の創（手術直後）



手術後2年半 ほとんど傷が分かりません

→ [ホームページトップへ](#)